

パッケージ内容

各部分の名称

1. プロジェクター
2. リモコン

はじめに

1. リモコンのセットアップ
2. プロジェクターの設置
3. プロジェクターの充電
4. 電源のオン / オフ
5. オートフォーカスおよび自動台形補正
6. ご使用上の注意

Nebula Connect アプリ 設定

1. ネットワークとインターネット
2. プロジェクター
3. ディスプレイと音声
4. アプリ
5. システム
6. その他

製品の使用方法

1. アプリの選択
2. 音声アシスタント
3. ワイヤレス画面ミラーリング / キャスト
4. HDMI 再生機器 / USB ドライブから再生する
5. Bluetooth スピーカーモード
6. プロジェクターを外部 Bluetooth スピーカーに接続する

ファームウェアの更新

製品の仕様

トラブルシューティング

商標

パッケージ内容



①



②



③



④



⑤



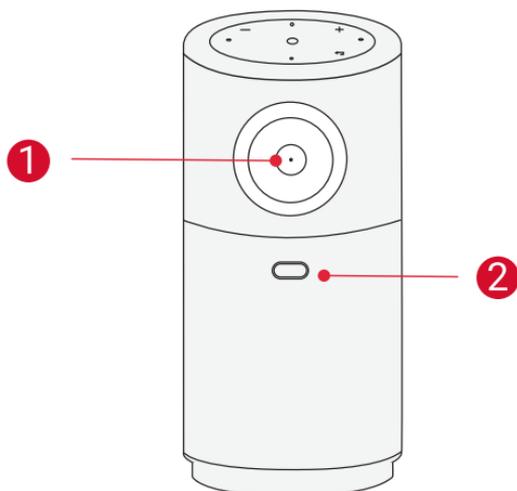
⑥

- ① Nebula Capsule Air
- ② AC アダプタ
- ③ 充電ケーブル
- ④ リモコン
- ⑤ 単 4 形乾電池
- ⑥ クイックスタートガイド

各部分の名称

1. プロジェクター

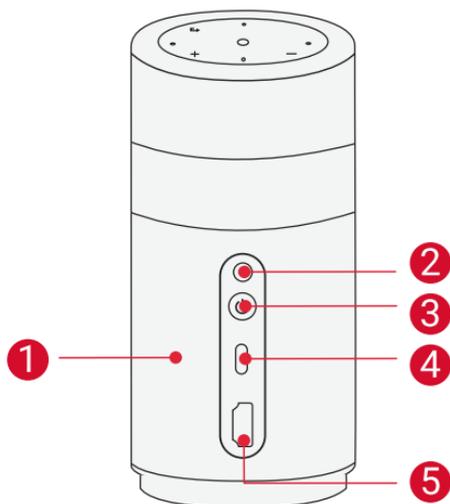
正面図



① レンズ

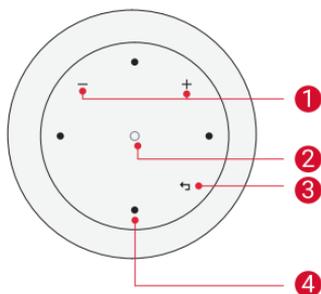
② オートフォーカスおよび自動台形補正センサー

背面図



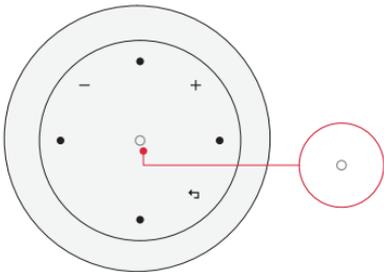
- ① スピーカー
- ② 赤外線レシーバー
- ③ 電源ボタン
 - 1.5 秒間長押し：電源オン / オフ
 - 1 回押す：スタンバイモードの開始 / 終了
- ④ USB-C ポート
 - USB メモリに接続
 - 充電ケーブルを使用して電源に接続
- ⑤ HDMI ポート
 - HDMI 出力を持つ再生機器に接続

上面図

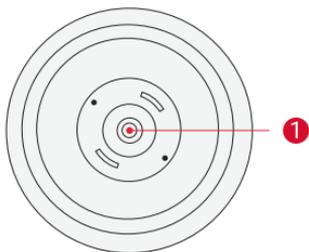


- ① 音量アップ / ダウンボタン
- ② 確定ボタン / LED インジケータ
- ③ 戻るボタン
- ④ ナビゲーションボタン

LED インジケータ

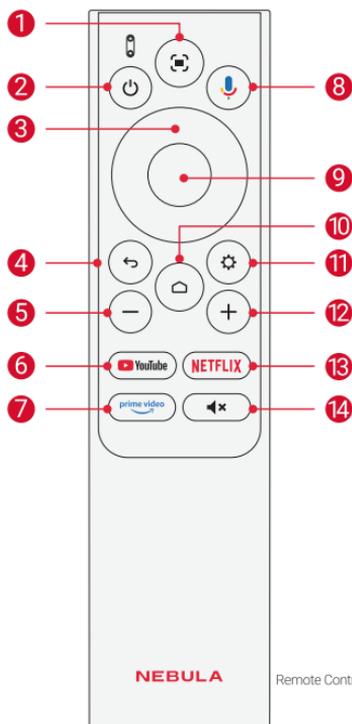
確定ボタン	LED インジケータ	本製品の状態
	青色に点灯	電源がオン
	消灯	電源がオフ
	赤色で点滅	バッテリー残量が低下
	赤色に点灯	充電中
	緑色に点灯	満充電
	オレンジ色に点灯	スタンバイモード

底面図



① 三脚用ソケット

2. リモコン

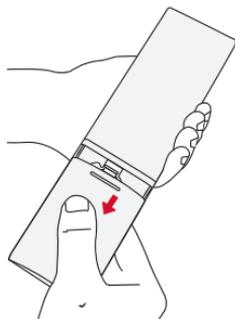


- | | | | |
|---|-------------------------|---|---------------------------------|
| ① | オートフォーカス | ⑧ | Google アシスタントの起動 (Google TV のみ) |
| ② | 電源のオン / オフ / スタンバイの切り替え | ⑨ | 決定 / 一時停止 / 再開 |
| ③ | ナビゲーション | ⑩ | ホームボタン |
| ④ | 戻るボタン | ⑪ | その他オプションの表示 |
| ⑤ | 音量ダウン | ⑫ | 音量アップ |
| ⑥ | YouTube を開く | ⑬ | Netflix を開く |
| ⑦ | プライムビデオを開く | ⑭ | 音声のミュート / ミュート解除 |

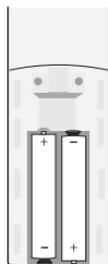
はじめに

1. リモコンのセットアップ

- ① 背面の電池カバーを開けます。
- ② 単4形乾電池2本をプラス (+) とマイナス (-) が合うように入れ、カバーを閉じます。



①



②

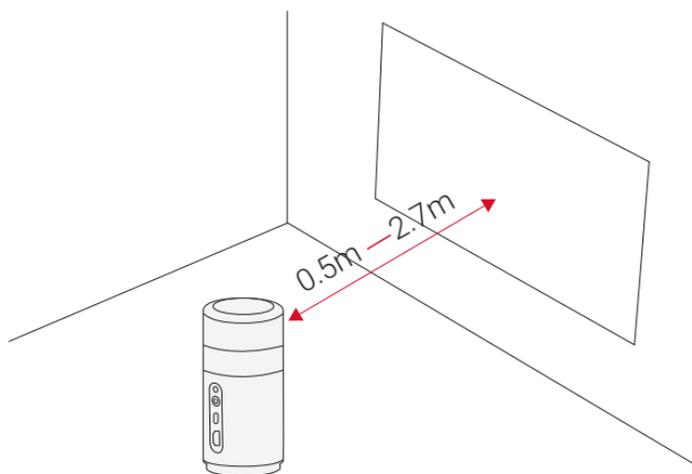
- ③ 初めて使用する場合は、画面の指示に従って、リモコンとプロジェクターをペアリングします。



- 初めてペアリングする場合は、リモコンをプロジェクターから 20 cm 以内に置きます。
- 通常の使用では、リモコンとプロジェクターの間の距離を 10 メートル以内に保ってください。

2. プロジェクターの設置

プロジェクターを、投影面の前の安定した平らな場所に置きます。より綺麗に投影するには、白く平らな壁もしくはスクリーンに投影してください。

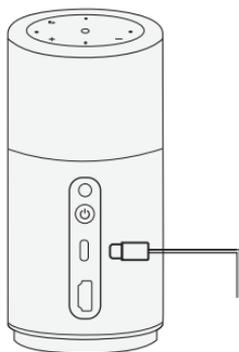


- 本製品を投影面に向けて傾ける必要はありません。オートフォーカスと自動台形補正によって、投影画像を補正できます。
- 投影画像の大きさは、本製品と投影面との距離で決まります。プロジェクターを投影面から0.5～2.7m離し、40～120インチのスクリーンサイズに設置することをお勧めします。

スクリーンのサイズ	投影距離
40 インチ	1.06 m
50 インチ	1.33 m
60 インチ	1.60 m
70 インチ	1.86 m
80 インチ	2.13 m
90 インチ	2.39 m
100 インチ	2.65m

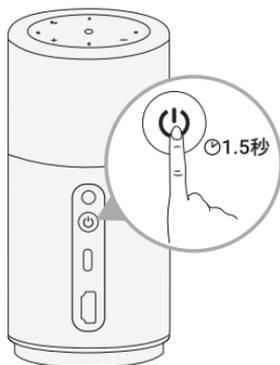
3. プロジェクターの充電

初めてご使用になる前に、付属の AC アダプタを使って満充電してください。



4. 電源のオン / オフ

プロジェクタの電源ボタンを 1.5 秒間長押しすると、電源のオン / オフが切り替わります。



- プロジェクターを AC アダプタに接続すると、リモコンを使用して電源をオンにできます。
- HDMI モードでは、10 分間ボタンの操作がされないか、信号が検出されないと、本製品はスタンバイモードに切り替わります。
- スタンバイモードが 30 分間続くと、本製品の電源は自動的にオフになります。

5. オートフォーカスおよび自動台形補正

オートフォーカスを実行：

- リモコンの[オートフォーカス]ボタンを押します。
- プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。
- プロジェクターを移動した時にフォーカスを自動で調整します。

手動フォーカス補正を実行：

[設定]>[プロジェクター]>[フォーカス設定]>[手動フォーカス補正]に移動します。

自動台形補正を実行：

自動台形補正を有効にする必要があります。([設定]>[プロジェクター]>[画像補正]>[自動台形補正の設定])。

- 設定が完了すると、以下の時に自動的に自動台形補正が起動します。リモコンの[オートフォーカス]ボタンを押します。
- プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。
- プロジェクターを移動した時にフォーカスを自動で調整します。

手動台形補正を実行：

次の手順に従って、手動で台形補正を行ってください([設定]>[プロジェクター]>[画像補正]>[手動台形補正を実行])。

6. ご使用上の注意

初めてお使いになる時は、画面の指示に従って基本設定を行ってください。必要に応じて、プロジェクターの「設定」メニューで設定をご変更いただけます。

Nebula Connect アプリ

本製品を操作する上で、Nebula Connect アプリをスマートフォンにダウンロードいただくことをお勧めします。



- ① App Store (iOS 機器の場合) または Google Play (Android 機器の場合) から **Nebula Connect** アプリをダウンロードします。
- ② お使いのスマートフォンで Bluetooth を有効にします。
- ③ Nebula Connect アプリを開き、接続する機器として **[Capsule Air]** を選択します。
- ④ 画面の指示に従って、接続のセットアップを完了します。

設定

本製品を初めて起動する際は、各種セットアップを完了させてください。

1. ネットワークとインターネット

本製品は、ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用してインターネットに接続できます。

- ① ホーム画面で  > **[ネットワークとインターネット]** を選択します。
- ② 画面の指示に従って、ネットワーク接続を完了します。

2. プロジェクター

ホーム画面で  > [プロジェクター] を選択します。

[画像補正]	<p>自動台形補正の設定</p> <p>[リモコンによる自動台形補正]: リモコンで、自動台形補正を有効または無効にします。</p> <p>[起動時に自動台形補正を実行]: プロジェクターの電源を入れた時、自動で台形補正を行います。</p> <p>[移動後の自動台形補正]: プロジェクターを動かした時、自動で台形補正を行います。</p> <p>[シームレス台形補正]: プロジェクターを動かす度に、すばやく台形補正を行います。</p> <p>[手動台形補正を実行]: 手動で台形補正を行います。</p> <p>[ワンクリック画像補正]: 投影画像の大きさが投影面に合わせて自動的に調整されます。</p> <p>[ズーム]: 投影画像を 70% から 100% の間でズームインまたはズームアウトします。</p>
[フォーカス設定]	<p>[手動フォーカス補正]: 手動によるフォーカスの補正を有効にします。</p> <p>[画像がぼやけているときのオートフォーカス]: 画像がぼやけている時にオートフォーカスを有効にします。</p>

[詳細設定]

[**投影モード**]: プロジェクターの設置方法を選択します。

- [**自動**]: プロジェクターが反転しているかどうかを自動的に検出します。これらのオプションを自動的に切り替えます。
- [**前面**]: 本製品を投影面の前に置きます。
- [**前面天井**]: 本製品を投影面の前に天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転します。
- [**背面**]: 本製品を投影面の後ろに置きます。
- [**背面天井**]: 本製品を投影面の後ろに天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転し、左右が反転します。

[**動作設定**]: センサーがオートフォーカスと自動台形補正を起動するための感度を設定します。

[**スマートソリューション**]: 問題が検出された時、通知を受信します。

- [**投影に関するエラー通知**]: 問題が検出された時、通知を受信します。
- [**手動補正に関するポップアップ**]: シームレス自動台形補正後、ポップアップを表示します。
- [**Nebula スマート通知**]: プロジェクターのステータスが変更された時、通知を受信します。

3. ディスプレイと音声

ホーム画面で >[ディスプレイと音] を選択します。

[ディスプレイと音声]	<p>画像</p> <p>[輝度]: プロジェクターのディスプレイの明るさを調整します。</p>
	<p>[画像モード]: 本製品にはプリセットされた画像モードがいくつか用意されているため、環境や入力ソースに合わせていずれかのモードを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [標準]: 暖色と寒色のバランスをとって自然な色を保ちます。• [ムービー]: 映画鑑賞に最適な色を再現します。• [会議]: 輝度は明るくなりますが、色の再現度が低くなる可能性があります。• [カスタム]: コントラスト、彩度、鮮明度、色温度、ガンマを手動で設定するか、それらの値をリセットします。
	<p>[エキスパート設定]: 詳細設定をカスタマイズして、画質を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none">• スクリーンドア効果の低減• DNR• MPEG NR• DI フィルムモード

音声

[**ムービー**]: 映画観賞用にサラウンドサウンドのリスニング体験を作り出します。

[**音楽**]: 音楽を聴くために高音域を強調します。

[**アウトドア**]: 屋外でオーディオ / ビデオを再生するために音量を上げます。

[**カスタム**]: バランス、低音域、高音域などのオーディオ設定を手動で定義します。

[**Bluetooth スピーカーモードをオンにする**]: プロジェクターを Bluetooth スピーカーとして使用できるようにします。

[**スピーカー遅延**]: サウンドを映像と同期させるために、操作ごとにサウンドの遅延を 10 ミリ秒ずつ調整します。

[**エキスパート設定**]: 詳細設定をカスタマイズして、音質を向上させます。

- ARC

音声出力

[**自動**]: 最適なオーディオ出力モードを自動的に選択します。

[**バイパス**]: 接続された機器がデコードできるように、処理せずにデジタルオーディオ信号を通過させます。

[**PCM**]: PCM 形式でオーディオを出力します。

[**Dolby Digital Plus**]: ドルビーデジタルプラス形式でオーディオを出力します。

[**Dolby Digital**]: ドルビーデジタルフォーマットでオーディオを出力します。

[**デジタル出力遅延**]: デジタル音声出力の遅延を調整して、音声とビデオを同期させます。

4. アプリ

- ① ホーム画面で  > [アプリ] を選択します。
- ② 選択したアプリに対しては、現在のバージョンの確認、アプリの起動、強制停止、使用されているストレージの確認、データまたはキャッシュの消去、アプリのアンインストール、通知と使用許可の有効化または無効化を行うことができます。

5. システム

ホーム画面で  > [システム] を選択します。

[デバイス情報]	製品情報の確認やシステムの更新、本製品のリセット、本製品の名前変更を行います。
[日付と時刻]	日付と時刻の自動設定を有効 / 無効にします。日付と時刻を手動で設定するか、タイムゾーンを選択するか、時刻形式を設定します。
[言語]	画面に表示する言語を選択します。
[キーボード]	キーボードを確認および管理します。
[ストレージ]	デバイスのストレージを確認します。
[背景モード]	Google TV に写真、天気、時刻を表示するように設定します。
[電源と省エネ設定]	自動スリープ設定を変更したり、現在のディスプレイをオフにしたり、信号が利用できない時の自動電源オフの時間を設定したりします。
[キャスト]	選択すると、Wi-Fi に接続されているすべての Android 機器に通知が表示され、それらの機器が本製品へのメディアキャストを操作できるようになります。
[システム音]	システム音声通知のオン / オフを切り替えます。
[再起動]	システムを再起動します。

6. その他

ホーム画面で  を選択し、その他の設定オプションを表示します。

[ユーザー補助]	字幕やテキスト読み上げなど、ユーザー補助に関する設定を変更できます。
[アカウントとログイン]	ログインして Google TV を最大限に活用します。
[リモコンとアクセサリ]	ペアリング対象のアクセサリ (Bluetooth スピーカー、リモコンなど) を検索します。

製品の使用方法

1. アプリの選択

ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用すると、オンラインサービスにアクセスしたり、映画、音楽、写真を表示または再生して楽しんだり、オンラインでブラウズできます。GooglePlay から追加のアプリをダウンロードできます。

- ① を押してホーム画面にアクセスします。
- ② **[アプリ] > [アプリをすべて表示]** を選択します。

2. 音声アシスタント

Bluetooth 接続でリモコンとプロジェクターをペアリングした後、リモコンの Google アシスタントボタンを使って音声で操作することができます。

3. ワイヤレス画面ミラーリング / キャスト

iOS、macOS、Android、または Windows 機器から本製品にムービー、ゲーム、ミュージック、スクリーンをワイヤレスでミラーリング / キャストできます。



プロジェクターとお客様の機器が同じワイヤレスネットワークに接続されている必要があります。Wi-Fi もしくはスマートフォンのテザリングでも可能です。

3.1 アプリ内コンテンツのキャスト

YouTube や Prime Video など、Chromecast に対応するアプリからコンテンツをキャストできます。

- ① デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続します。
- ② デバイスでストリーミングアプリを開きます。
- ③ ビデオを再生し、ビデオ画面でキャストアイコン  をタップします。
- ④ 「Nebula Capsule Air」を選択して接続します。プロジェクターは、デバイスのビデオ画面をキャストします。

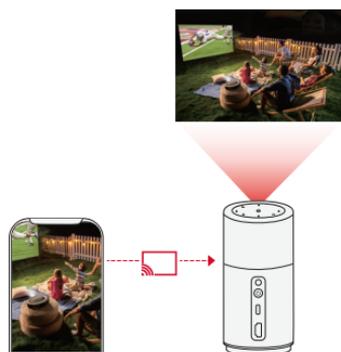
3.2 デバイスの画面のミラーリング

iOS 搭載機器の場合：

- ① プロジェクターとお客様の機器が同じワイヤレスネットワークに接続されている必要があります。
- ② Nebula Cast アプリをプロジェクターにインストールし、アプリを開きます。
- ③ お使いのデバイスのコントロールセンターを開き、をタップします。
- ④ デバイス一覧から「Nebula Capsule Air」をタップします。

Android 搭載機器の場合：

- ① プロジェクターとお客様の機器が同じワイヤレスネットワークに接続されている必要があります。
- ② お使いの機器に Google Home アプリをインストールします。
- ③ 「新しいデバイスを追加」をタップして「Nebula Capsule Air」を選択し、接続します。
- ④ 「画面をキャスト」をタップします。

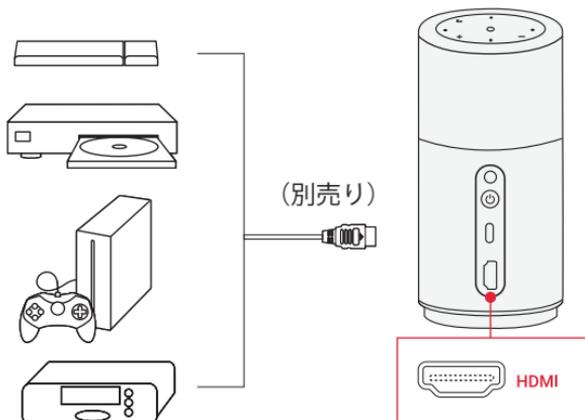


著作権の制限により、特定のコンテンツは本製品でキャストできません。同じアプリを本製品にインストールしてそのアプリからコンテンツを再生することはできます。

4. HDMI 再生機器 / USB ドライブから再生する

本製品は、TV、DVD プレーヤー、ストリーミングデバイス、ゲーム機など、さまざまな HDMI 再生機器に接続することができます。

- ① HDMI ケーブル (別売り) を使用して、本製品を HDMI 再生機器に接続します。
- ② ⚙️ > [チャンネルと入力] > [入力] > [HDMI] を選択します。



初めて HDMI 再生機器に接続すると、本製品は HDMI 再生を自動的に開始します。

USB ドライブから再生する方法：

プロジェクターには USB-C ポートが 1 つしかないため、ハブを使用して機器の充電と USB ドライブの読み込みを同時に行う必要があります。

手順：

- ① ホーム画面上段 [アプリ] 内にある [アプリやゲームを検索] から、“File Commander” を検索し、アプリをダウンロードします。
- ② ハブをプロジェクターの USB-C ポートに接続します。
- ③ 充電ケーブルをハブの充電ポートに接続します。
- ④ USB ドライブをハブの USB ポートに挿入します。



接続が安定していることを確認してください。

5. Bluetooth スピーカーモード

本製品は、Bluetooth スピーカーとしてご使用いただくことができます。

- ① [設定]>[ディスプレイと音声]>[音声]>[Bluetooth スピーカーモードをオンにする]を選択し、プロジェクターをプロジェクターモードから Bluetooth スピーカーモードに切り替えます。
- ② プロジェクターとペアリングするには、お使いのスマートフォンで Bluetooth 有効にして接続します。



Bluetooth スピーカーモードを終了するには、リモコンの戻るボタンを押します。

6. プロジェクターを外部 Bluetooth スピーカーに接続する

- ① ご使用の Bluetooth スピーカーの電源をオンにし、ペアリングモードの設定をします (手順はスピーカーによって異なるため、詳細な手順についてはご使用の Bluetooth スピーカーのマニュアルを参照してください)。
- ② [設定]>[リモコンとアクセサリ]>[アクセサリのペア設定]を選択します。ペアリングしたい Bluetooth スピーカー名を選択します。
- ③ ペアリングが成功すると、プロジェクターのオーディオが外部 Bluetooth スピーカーから出力されます。

他の Bluetooth アクセサリも、上記手順でプロジェクターに接続できます。

ファームウェアの更新

本製品の最新の機能をご利用いただくには、必要に応じてファームウェアの更新を行い、システムを最新の状態にしていただくことをお勧めします。

システムをアップデートするには、[設定]>[システム]>[デバイス情報]>[システム アップデート]に移動します。

製品の仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

入力	20V \equiv 2.25A
消費電力	37W 未満
スタンバイ時消費電力	0.5W 未満
解像度	1280x720
対応解像度	480p(60Hz)、576p(50Hz)、720p(30Hz)、720p(50Hz)、720p(60Hz)
コントラスト比	400:1
アスペクト比	16:9
スクリーンのサイズ	40 ~ 100 インチ
スローレシオ	1:2
投影距離	1.06 - 2.65m
光源	RGB LED
フォーカス	自動
台形補正	自動
スピーカー出力	5W
騒音レベル	28dB 未満
通信方式	Bluetooth 5.1

Bluetooth 動作範囲	25 m
USB メモリのファイルシステム	FAT、FAT32
動作温度	0°C ~35°C
リモコン電池	単 4 形乾電池 (x2)

トラブルシューティング

①電源が入らない場合

- ・プロジェクターの電源が切れている可能性があります。プロジェクターを 15 ~ 30 分間充電し、電源ボタンのライトが点灯するかどうかを確認してください。

②充電できない場合

- ・充電には、付属の AC アダプタと電源コードを使用します。

③ Wi-Fi ネットワークに接続できない場合

- ・プロジェクターをルーターから 5m 以内に配置し、再接続します。
- ・ルーターを 2.4 GHz または 5 GHz に設定して、再試行してください。
- ・プロジェクターとルーターを再起動して、再試行してください。
- ・別の Wi-Fi ネットワークまたはスマートフォンのテザリングをお試しください。

④画像がぼやけている場合

- ・プロジェクターを少し動かすか、リモコンのボタンを押して、オートフォーカスを起動します。
- ・フォーカスを手動で調整するには、**[設定]>[プロジェクター]>[フォーカス設定]>[手動フォーカス補正]**に移動し、リモコンの左右のボタンを使用します。
- ・必要に応じて、投写角度や投映方向、プロジェクターの高さを調整してください。

⑤画像が歪む場合

- ・次の手順に従って、ファームウェアを最新バージョンに更新してください：[**プロジェクター設定**] > [**更新**] > [**ファームウェア更新**]。
- ・次の手順に従って、手動で台形補正を行ってください ([**設定**] > [**プロジェクター**] > [**画像補正**] > [**手動台形補正を実行**])。
- ・必要に応じて、プロジェクターを左右に動かすか、設置角度を調整してください。

⑥「HDMI 信号なし」と表示される場合

- ・別の HDMI ケーブルを使用してください。
- ・プロジェクターを別の HDMI 再生機器に接続します。
- ・HDMI 再生機器を HDMI ケーブルでテレビに接続し、機器やケーブルに不具合がないか確認してください。
- ・HDMI 再生機器の出力解像度 / 周波数をプロジェクターと同じになるように調整してください。

⑦ Wi-Fi なしで動画を再生する方法

- ・動画を FAT または FAT32 形式で USB メモリにダウンロードします。次の手順については、「**USB メモリから再生する**」を参照してください。

商標



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Anker Innovations Limited. は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。